

Mascot Server version 3.0

新規インストール・アップグレード手順 追加操作

この書類は、**Mascot Server version 3.0** を新規にインストール、またはアップグレード後に行わなければならない操作に関する補足説明が記された資料です。

以下のソフトウェアをご利用の方は、**Mascot Server ver.3.0** をインストール後インストール後に追加の対処が必要になる可能性があります。

1. Thermofisher scientific 社 : Proteome Discoverer
2. Bruker 社 : Biotoools または BioPharma Compass
3. Proteome Software 社 : Scaffold 5, Scaffold Q+S, Scaffold DDA

以降各ソフトウェアについてより詳しく説明し、対処方法についてご案内します。

1. Thermofisher scientific 社 : Proteome Discoverer

Proteome Discoverer にてすべての機能を有効とするため、弊社サイトにて公開されているパッチプログラムを入手して、MASCOT Server 上でファイルを入れ替える作業を行う必要があります。

操作手順は以下の通りです。

操作手順:

1. Mascot の Home 画面へアクセスし **Database Status** を開きます。画面上部をご覧頂き、Mascot Server のバージョンが **3.0.0** であることを確認します。異なる場合は以下でご案内するパッチプログラムの入れ替えをしないでください。

The image shows two overlapping screenshots. The background screenshot is the Mascot Server 3.0 home page, featuring the Matrix Science logo and navigation links. A 'Quick Links' menu is visible, with 'Database Status' highlighted by a yellow arrow. The foreground screenshot is the 'MASCOT search status page', which displays the following information:

MASCOT search status page

Version: **3.0.0** - MSKK (NXEV-MSNN-44RK-774S-CESZ) [Licence Info](#)

24 logical, 1 physical Intel processors (hyper-threading enabled, 12 cores, 24 threads) available, using: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

Active databases: 27. Inactive databases: 2. Max databases: 256.

[Search log](#) [monitor log](#) [error log](#) [Error message descriptions](#) [Do not](#)

Name = [AmbystomaMexicanum](#) Family = C:/inetpub/mascot/sequence/AmbystomaMexicanum_20220624.fasta Pathname = C:/inetpub/mascot/sequence/AmbystomaMexicanum_20220624.fasta

Status = In use [Statistics](#) [Compression warnings](#) [Recon](#)

State Time = Tue Oct 15 11:35:10 # searches = 0

2. **Mascot_Server_3_0_client_pl_for_PD.zip (15 kB)**をダウンロードします。

https://www.matrixscience.com/downloads/Mascot_Server_3_0_client_pl_for_PD.zip

この zip ファイルには、修正された Perl スクリプトが含まれています。

3. Mascot サーバー上で、C:\inetpub\mascot\cgi\client.pl の**バックアップを作成**します。

(Linux の場合は /usr/local/mascot/cgi/client.pl などです)。ファイルを別の場所にコピーしてください。

4. ダウンロードした ZIP ファイルを解凍して得られる client.pl を、上記ファイルと**置き換えます**。(上書き保存など)

5. Proteome Discoverer から Communication Test を実行します。

なお現段階において、Proteome Discoverer との互換性の問題は他にありません。Mascot PD ノードは、.msr の結果を「dat28」フォーマットに自動的に変換する Mascot API スクリプト (client.pl) を使用します。

PD ノードの「Mascot」は、DeepLC または MS²PIP を使用した結果の絞り込みについて現在サポートしていません。

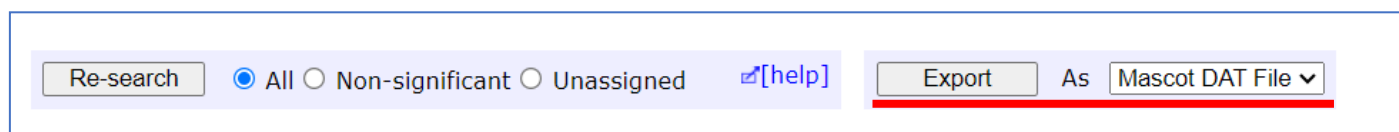
2. Bruker 社 : Biotools または BioPharma Compass

MASCOT Server ver.3.0 では結果ファイルフォーマットが変更になりました。新しいファイルフォーマットは(.msr)です。Bruker 社の Biotools または BioPharma Compass の現行バージョンでは、MASCOT の検索結果を入手するために古いバージョンの MASCOT API を利用しており、必要なファイルは.dat となります。ファイルフォーマットの違いに対処するための 方法については、次頁に記載されている[\[MASCOT Server 設定変更\]](#) をご参照ください。

3. Proteome Software 社 : Scaffold 5, Scaffold Q+S, Scaffold DDA

MASCOT Server ver.3.0 では結果ファイルフォーマットが変更になりました。新しいファイルフォーマットは(.msr)です。ProteomeSoftware 社のソフトウェア、Scaffold 5, Scaffold Q+S, Scaffold DDA では、検索結果の取り込みで .dat ファイルが必要ですが、ver.3.0 では標準設定において .dat を生成しません。そのための対処法は以下 **A,B** の 2 種類があります。お好みの方法をお選びください。

A. MASCOT の結果画面、Export ボタン隣から "Mascot DAT File" を選択し、“Export”ボタンを押します(下図)。



B. 次頁に記載されている [\[MASCOT Server 設定変更\]](#) を実施してください。ユーザーが特に操作をしなくても .dat が自動的に作成されるよう、MASCOT Server の設定が変更されます。

[MASCOT Server 設定変更]

Bruker 社または Proteome Software 社のソフトウェアとの連携に関する問題を解消するための設定変更操作です。MASCOT Server の設定 変更を行ってファイルフォーマットを旧バージョンで採用していた .dat ファイルのまま利用を続けるように指定します。

1. Home -> Configuration Editor -> Configuration Options

The screenshot shows the Mascot Server 3.0 web interface. The navigation menu at the top includes Home, Access Mascot Server, Help, Support, Training, Monthly newsletter, and About. The main content area displays the Mascot Server 3.0 logo and a brief description. On the right, there is a 'Quick Links' section with the following items: Log in, Search Log, Database Status, Configuration Editor (highlighted in red), and Log out. On the left, there is a 'Mascot Configuration' sidebar with a list of configuration categories: Amino Acids, Modifications, Symbols, Linkers, Enzymes, Instruments, Quantitation, Crosslinking, Configuration Options (highlighted in red), and Database Manager. A yellow arrow points from the 'Configuration Editor' link in the Quick Links section to the 'Configuration Options' link in the sidebar.

画面下部にあるパラメーター「AlwaysCreateDat28ResultsFile」の値を 0 から 1 に変更し、画面下部の“Apply”ボタンを押します。

SearchSubmitAcceptedFileTypes	Mascot generic,mzML (.mzML)
SearchSubmitDefaultPeptideCharge	2+, 3+ and 4+
SearchSubmitOutputFormat	msr
<u>AlwaysCreateDat28ResultsFile</u>	<u>1</u>

ご案内事項は以上です。

● 技術サポート

インストールに関してご質問等ありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。

電子メール : support-jp@matrixscience.com

電話 : 03-5807-7897

